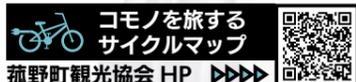




NEW コモノを旅する サイクルマップ

電動アシスト自転車で町内をめぐる際などに活用できるサイクルマップ。モデルコースの中に「おてんば姫の道草コース」を掲載しています。



八重姫ゆかりの地を巡ることで理解を深め、マンガでの描かれ方を比べてみると、八重姫がいた時代に思いを馳せてみられませんか。

正眼寺

涅槃図 菰野町指定有形文化財

菰野第一区にある正眼寺には、生来病弱だった2代藩主雄高の健康を案じて、正眼寺の薬師如来の加護を授かるために八重姫らが寄進した涅槃図が残されています(原則非公開)。現在の正眼寺は、3代藩主雄豊が信長の伊勢侵攻で焼失し仮堂のままだった正眼寺を再建したものです。



▲執筆者の服部さんとともに八重姫ゆかりの地を訪れ、マンガ内での忠実な描写に反映しました。

在も訪れることができる町内の寺院などが登場しています。

また、今回のマンガの刊行にあわせてさまざまな企画も進行しています。町内をめぐるサイクリングコースに八重姫ゆかりのスポットをめぐる「おてんば姫の道草コース」を設定したり、マンガの中で登場する八重姫ゆかりの地に案内パネルを設置する試みも進めています。マンガを読んだ後は、

菰野藩を知る資料として

完 成した「菰野町偉人マンガ 八重姫伝」はマンガとしてだけでなく、かつての菰野藩の歴史をたどる資料の役割も果たしています。100ページ超にもわたるマンガの後には資料編を挿入し、郷土研究に携わった先人が調査した土方藩に関する情報などを掲載しています。登場人物の、

登場する数々のスポット

マ ンガの中では、土方家や八重姫にまつわる町内各地のスポットが資料をもとに忠実に描かれています。土方家歴代藩主や玉雄院(八重姫)の墓碑が残る見性寺をはじめ、初代藩主雄高氏が歿した廣幡神社や八重姫らが寄進した涅槃図が残る正眼寺など、現

キャラクター 関野 相関図 する年表、文化財などの紹介を集約した冊子にもなっています。



八重姫 ゆかりの地を巡る



廣幡神社

菰野第二区にある廣幡神社は、2代藩主雄高が疱瘡にかかった際、初代藩主雄高氏が京都から菰野に八幡宮を勧請し、病気が治るように祈願したとされています。廣幡神社の参道、金溪川沿いに八重姫の指示で桜と楓を植えたと言われています。

歴史教材として授業を展開

普 段は、なかなか郷土の資料に触れる機会が少ない子どもたちでもマンガというコンテンツならば歴史教材として活用できるのではないかと考え、町内の小学校4〜6年生を対象に今回制作したマンガを配付する予定です。また、授業の教材として使用し、菰野町に実在した偉人の存在を伝え、郷土愛を育む授業を展開していく計画もしています。

菰野町の偉人を菰野町の漫画家が描き上げた今回のマンガ。世界でここにしかない物語が完成しました。ぜひ、皆さんに読んでもらい、菰野町のこれまでの歴史を知り、きっかけにしてもらいたいと思います。

見性寺(菰野藩主土方家墓地)

菰野町指定史跡

菰野第三区の見性寺は、土方家の菩提寺として2代藩主雄高が寛永21年(1644年)に尾張の三霊和尚を招き創建しました。立派な山門も見どころですが、山内には菰野藩歴代藩主たちの墓碑が並んで建立されており、玉雄院(八重姫)や菰野藩の家臣たちの墓碑も建立されています。

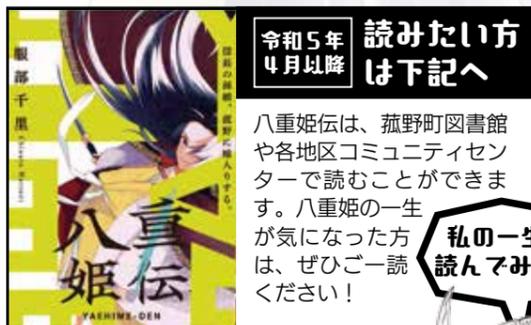
土方家の墓も残っているぞ

KATSUZI

菰野町偉人マンガ制作実行委員会

委員長 森 豊さん

この本の扉を開いてみれば、もっと菰野町が好きになる。そんなマンガが完成しました。八重姫の存在は、ほとんどの方が知らないと思いますが、多くの方にこのマンガを読んで菰野町の歴史を知るきっかけにしてほしいと思います。



令和5年4月以降 読みたい方は下記へ

八重姫伝は、菰野町図書館や各地区コミュニティセンターで読むことができます。八重姫の一生が気になった方は、ぜひ一読ください!

私の一生を読んでみよ!



配架場所 ▶ 菰野町図書館
▶ 各地区コミュニティセンター
※各地区コミュニティセンターでは貸出不可

YAEHIME



八重姫さまの歴史を学ぶのじゃ

KUWABARA

問い合わせ
コミュニティ振興課
TEL 391-1160
FAX 328-5995



※「菰野町偉人マンガ 八重姫伝」は、(公財) B&G 財団の「偉人マンガの製作と活用事業」を活用し、刊行しています。